

## 平成27年度 第1回日野市子ども・子育て支援会議

### 議事録要旨

出席委員 20人中 20人出席

欠席委員 なし

日時 平成27年6月4日(木) 18:30~20:10

場所 市役所5階 505会議室

次第

1 開会

2 市長あいさつ

3 委員紹介

4 事務局紹介

5 議事

(1) 会長・副会長の選任について

(2) 会議の役割と今後のスケジュールについて

(3) 新!ひのっ子すくすくプラン(日野市子ども・子育て支援事業計画)の概要について

(4) 各個別事業等について

(5) その他

6 閉会

[配布資料]

資料1 日野市子ども・子育て支援会議委員名簿(平成27年6月4日現在)

資料2 日野市子ども・子育て支援会議事務局名簿(平成27年6月4日現在)

資料3 日野市子ども・子育て支援会議の役割と今後のスケジュールについて

資料4 新!ひのっ子すくすくプラン(日野市子ども・子育て支援事業計画)の概要

資料5 すくすくプラン各施策の進捗状況 実績(H26)

資料6 新!ひのっ子すくすくプラン各施策の取り組み(H27)

参考資料 日野市子ども・子育て支援会議条例・同施行規則

## 1 開会

- ・本日第1回目の会議のため、本会議会長、副会長の選任までを事務局で進行。
- ・本会議については議事録作成のため録音をさせていただきます。

## 2 市長あいさつ

- ・日本全体の人口が緩やかに減少している中、日野市においても人口の高齢化、少子化、そして生産年齢人口の減少は避けられない。
- ・これに対応するため地域の魅力を向上させて、様々な世代がバランスよく交流し、子育てや介護をしながら働くことができる環境を整え、子育て世代や若い世代が日野市を選び住み続けられるよう取り組んでいる。
- ・子育て分野においては、「子育てしたいまち しやすいまち日野」の実現にむけて「子ども・子育て支援会議」を設置し、27年度から5年間で1期とする「新！ひのっ子すくすくプラン」を策定した。
- ・この計画を策定するにあたっては、様々な立場の皆様から積極的なご意見を頂戴し、精力的な議論を重ねていただいた。今年度は、この「新！ひのっ子すくすくプラン」をきちんと評価・検証し課題の解決に向け市の実情を踏まえ、ご意見を頂戴することになる。
- ・当市における子ども・子育て支援新制度への円滑な施行・実施に向け、委員の皆様方のご協力をいただきたい。

## 3 委員紹介

名簿順に各委員の自己紹介

## 4 事務局紹介

出席者紹介

## 5 議事

### (1) 会長・副会長の選任について

- ・会長・副会長の選任は条例第6条第2項で互選により定めることとなっている。
- ・会長について、教育学、教育思想が御専門で、実践女子大学名誉教授、日本ペスタロッチー・フレーベル学会会長、日本児童学会理事等多方面で御活躍されている乙訓委員を

事務局として提案し全会一致で決定。

- ・副会長について、長年、保育園運営に携われ、日野市民間保育園連合会会長の吉富委員を提案し、全会一致で決定。

#### (2) 会議の役割と今後のスケジュールについて

- ・本会議は条例第1条により、子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づき条例で設置。法に定める4つの事項を審議する。
- ・本会議の所掌事務の処理にあたっては、地域の子ども及び子育て家庭の実情を十分に踏えなければならず、条例第4条で幅広い分野の委員20人で構成した。
- ・特に専門的な事項を調査審議する為に必要に応じて専門部会を設けることができる。昨年度の状況は、保育・教育部会、地域支援部会のどちらかに各委員が所属した。
- ・会議のスケジュールは、平成27年度に5回を予定。今後変更の可能性あり。

#### (3) 新！ひのっ子すくすくプラン概要版について

- ・概要版に基づき、新制度の概要、量の見込み、待機児解消に向けた現状と取り組み、放課後の子どもの居場所に関する施策、在宅支援の取り組みについて説明。
- ・保育料、学童クラブ使用料については、国や他市の状況、今後の施設整備への対応等を踏まえ、適正な費用負担のあり方について、支援会議にも諮っていく。
- ・この図書館、児童館を含めた市内公共施設、及び市ホームページで公開。

#### (4) 各個別事業等について

- ・すくすくプラン26年度実績一覧表と新！ひのっ子すくすくプラン27年度の取り組み一覧表に基づき、事業の内容、実績、方向性等を説明。
- ・今後5年間、163の個別事業を着実に推進していく。
- ・平成27年度がスタートした中、保育園・幼稚園の申請、保育料の徴収等の枠組みが変わることで、当初混乱が懸念されたが、当面の間、現行の方法で行うことで大きな混乱はなかった。しかし、教育・保育の必要性の認定を行うことで事務量は増えた。また保育短時間認定等は保護者の方に不便ならないよう認定作業している。
- ・共働き世帯が増えるため保育のニーズは高くなるが、子どもの数は減っていく。増やすだけでなく、減るところ、増えるところのニーズを的確にとらえ総合的に検討すべき。

- ・このプランの期間に大きな減少はないものの、この先に待っている状況は減少するといわれている。この5年で重要なのはこの先の5年、10年を見据えた議論をする必要があること。
- ・新！ひのっ子すくすくプランの「！」については、新制度において、子ども子育て支援が、社会全体で支える仕組みになったことの趣旨を踏まえ、日野市においても、各分野の子育て関連事業をさらに充実させていくという思いを込めた。

子ども・子育て支援新制度が社会全体で取組む、日野市としても子育て支援をさらに充実させていくと捉え取り組んでいくということ。

#### (5) その他

- ・次回の開催について 平成27年7月30日(木)午後6時30分～505会議室

## 6 閉会